

～使命の継続～

2016年12月10日発行 12月号 No. 262

◇「ともに歩もう 新しい未来へ」

全ト協会青年部会 部会長 山本 明徹

〔台東支部 (株) 大昌運輸〕



全日本トラック協会青年部会部会長を仰せつかっております山本でございます。

全国の青年部会は、現在 5300 名ほどの会員がいますが、各都道府県青年部会との交流も活発に行われております。

全国組織として1つにまとまり、強い絆で結ばれるようになってきているのは、今、ロジ研で活躍されている先輩方が長年作り上げてくださったヒューマンネットワークのお陰でございます。

今年度のスローガンは、「ともに歩もう 新しい未来へ」です。各地域の仲間達と一緒に、物流業界の現状や問題を発信していくことで、業界発展に繋がっていただければと思っております。ロジスティクス研究会の諸先輩方には、これからもたくさんのご指導をいただき、厳しくご指導していただければと思っております。

皆様の益々のご活躍を楽しみにしております。今後ともよろしくごお願い申し上げます。

◇「第2回オープンセミナー」

<日本の人手不足解消の試金石！運送業界の生産性向上を！>

11月18日に本年度第2回目のロジ研主催オープンセミナーが全ト総合会館で開催された。会場の都合上小規模とはなったが80人超の参加者(業界外含む)となった。三橋氏の講演内容を簡単に抜粋すると以下ようになる。

①運送業界の人手不足は好機ととらえるべきであり、需要に供給が追いつかない現状はまさにインフレでありながら、なぜ運賃を上げられないのか？(1997年の橋本政権下での緊縮財政と規制緩和による経済政策の失敗から始まり、20年続くデフレから脱却できていない)

②人手不足を解消させて生産性向上を実現するためには高速道路等のインフラを整備する必要があり、それに付随するトラックの開発や付帯作業機器の開発が必至となるであろう。外国人労働者の受け入れを考えるのは愚策であり(免許証の関係上無理である)、女性雇用を図るにしてもトラック及び付帯作業機器の開発を含むシステム構築が不可欠である。

③日本の高速道路におけるインフラ整備状況は制限速度100km/h・60km/h以上の道路ネットワーク比においては先進国中最低であり(日本のみ80km/h)、トラック業界での生産性向上の妨げになっている。

④道路インフラ等は業界努力だけでは成し得ない事柄であり、族議員を作るべきである。族議員の呼び名は聞こえが良くないが、地方選出議員はその地方をよくするために働くのであるから、トラック業界の実情を国に訴え実現する議員を作るのは当たり前であり、民主主義国家の根幹である。

以上の内容を総務省統計局・内閣府・国土交通省の資料を基に講演を執り行っていただいた。

懇親会は東ト総合会館に戻り藤倉本部長の開会挨拶、石井文京支部長の乾杯発声で和やかに始まった。懇親会の醍醐味はほろ酔いの三橋氏を囲んでの質問攻めである。オープン参加のために一般の三橋ファンが取り囲み、その多くの人が経済オタクときているからなかなか面白い。

一般参加者Aが「浜田宏一内閣官房参与が持論の経済政策案が間違っていたと発表しましたよね？」三橋氏「認めちゃうくらい良い人なのよねえ。だから日銀政策や財政出動消極策に関しての

机上論も安倍さん達は聞き入れちゃうのよねえ。当然、藤井さん(第1回講師、内閣官房参与・京大教授)の国土強靱化論に不可欠な財政出動が中途半端(去年は最低額)に成っちゃう訳でも良い人でしょ…実は…」

何でも、浜田さんの主張に苦言を呈していた藤井さんに対し、浜田さんはお詫びの手紙を書こうとしていたが、わざわざ出向いてお詫びしたとの事。それくらい良い人なんだそう。 (だが、この3年間のデフレ脱却促進にブレーキをかけたのはある意味で国賊級だとも・笑)

そこで私が「トランプ大統領誕生で日本へのメリット・デメリットは？」との問いに「経済ではTPPは実質解体(アメリカが全体の80%割合だそう)がメリットで経済よりむしろ国防にデメリットが」「南シナ海と尖閣がやばいと思うのよね。尖閣に中国漁民が1万人も上陸したら日本は何も手出しできないでしょ？トランプって保守的リアリストらしいから優先順位から言ってもねえ」「日本人は平和ボケしちゃうているから」との事。そう言えば先日、三橋氏と仲の良い藤井教授がフェイスブックに書いていた文章を思い出す。

<万一我が国が「米国追従」だけを基本とした外交であったとすれば、トランプ大統領が誕生し、米国が極東から大きく撤退することになれば、(日本は)すさまじく混乱し、国益が大きく棄損することは必至。何度も一部で指摘され続けたように、「独立自尊」の精神は決してプライドだけの精神的問題だけではなく、実際の利益のためにこそ必要不可欠だった…のです。我が国に独立自尊の精神が残存していることを、心から強く祈念します。>

国防・経済政策を含めての国民への警鐘なのでしょうか…来年の3月には三橋氏・藤井教授他によるフォーラム(パネルディスカッション)を研修委員会で企画しているそうで…とても楽しみですなあ。

<ロジ研広報勝手に委員・山田 正信>

◇「ロジ研 忘年会」

12月7日に新宿三丁目にあるグリルドエイジング・ビーフ TOKYOにて平成28年度ロジ研忘年会が行われました。

東ト協の様々な年末行事が重なる中で万障繰り合わせて頂き、今年中にはこの人に会っておかないと思われたのか51名の多数参加となり、時間延長してまで盛り上がりました。



〔佐久間副会長中締めの様子〕

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 12/16(金)16:00～ 三組織連絡会
- OH29/1/25(水)14:00～ 正副本部長会議(東ト総合会館4階対策室予定)
- 2/10(金)16:00～ 三組織合同セミナー・新年会
- O2/16～20(木～月) 温故創新セミナー(ハワイ・真珠湾)